



学校便り 「志々伎の風」

No.5

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年5月29日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【運動会、ありがとうございました。】

1週間延期しての運動会にも関わらず、多くの保護者・地域の方々と共に実施することができました。強風の中での実施だったので、子どもたちの集中力が続くか心配でしたが、閉会式まで集中して臨んでいました。これも保護者・地域の方々の応援のおかげです。



今年は、地域と学校がこれまで

以上に一体となった運動会になればと考え、志々伎大集合の写真撮影や志々伎応援歌全員合唱など新たな取り組みを提案させていただき、実施することができました。ありがとうございました。



【親子で読書・みんなで読書】



お笑い芸人って、ひょうきんで明るい人なら誰でもできるんじゃないのかな？そんなふうに考えていませんか？

大間違いです！お笑い芸人さんたちが、かげでどれだけ努力しているのかを楽しく読めて理解できる物語です。

【送迎】

雨風の強い日など、校舎横の駐車場の送迎があります。そのような中で、時々、玄関前に車が止まっていることがあります。歩いて登下校している子どもと交錯する可能性があり、非常に危険ですので、駐車場での乗り降りにご協力ください。

【地域と共に】

おさかな祭りで、お店の協力をさせていただく活動が、今年で3年目になりました。



最初の年と比べると大きな声で呼び込みをしたり、お客さんと積極的に会話をしたりと確実に成長しています。また、パッケージに貼るシールのデザインを考えたり、志々伎の紹介パネルを作成したりと子どもたちの関わりも大きくなっています。

このような活動をとおして、郷土愛が育ち地域のために自分たちにできることは何か考え、自分の将来の夢へとつながっていきます。

とてもよい活動の機会を与えていただいています。ありがとうございます。

